

|   |   |      |         |        |     |
|---|---|------|---------|--------|-----|
| タイトル  | <i>The Adventures of the Dish and the Spoon</i> |      |         |        |     |
| 著者（文・絵）   | Mini Grey                                       |      |         |        |     |
| 出版年   | 2007 年  | 出版社  | Red Fox |        |     |
| 翻訳版   | 無   |      |         |        |     |
| 総語数   | 3,027 語   | ページ数 | 32 ページ  | YL レベル | N/A |
| あらすじ  |   |      |         |        |     |
| <p>内表紙には、“Hey Diddle Diddle. The Cat and the fiddle. The Cow jumped over the moon. The Little Dog laughed to see such fun!”と書かれた「マザーグース」の本が描かれています。満月が輝く夜に、レコードプレイヤーが奏でるこの童謡を耳にした、恋するふたり Dish と Spoon。月光に誘われ、ドーバー海峡の白い崖から飛び込み、駆け落ちします。Spoon を載せた Dish はゆらりゆらり、自由の都ニューヨークに流れ着きます。アメリカでふたりは旅の一座に加わり、曲芸で人気を博します。セレブな暮らしもつかの間、あっという間に大散財。困窮したふたりは借金返済のため、とうとう銀行強盗にまで身を落とします。Dish は割れてバラバラに、Spoon は刑務所に。25 年の刑期を終えた Spoon が故郷に戻ると町はすっかり変わり果てて行き先すらありません。そんな Spoon が、ふとある古道具屋を訪れると...</p>   |   |      |         |        |     |
| 紹介  |   |      |         |        |     |
| <p><i>The Adventures of the Dish and the Spoon</i> で引用されている“Hey Diddle Diddle”は数多くあるマザーグースの中でもとりわけよく知られており、文学や映画作品にも引用されているようです。他の童謡同様に内容はナンセンスです。韻を踏んだ耳に心地よいリズムと相まって、当時の子どもたちから人気を得たのでしょうか。Walter Crane、Kate Greenaway ら、多くの稀代イラストレーターにも愛され作品化されました。ちなみに、これらの魅力的な絵本は筆者所属の鶴見大学図書館・貴重書コレクションに含まれています。時々、大学図書館や大学外の美術館で展示されることがあります。機会があれば、ぜひご覧ください。</p> <p>マザーグースに加えて、以下を併せて指導するとアメリカ文化に触れることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移民 (the Statue of Liberty and Ellis Island)</li> <li>・ 狂乱の 1920 年代 (Roaring Twenties)</li> <li>・ 消費文化 (Tiffany, Bloomingdales, Macy’s の箱 Rolls-Royce らしき高級車が描きこまれている)</li> <li>・ 世界恐慌 (The Great Depression)</li> </ul> <p>Dish と Spoon は、実在の銀行強盗を主人公としたアメリカン・ニューシネマの代表作『明日に向かって撃て!』(<i>Butch Cassidy and the Sundance Kid</i>, 1969 年) の男女ふたり組を髣髴させますし、“Wanted”の張り紙はこの映画をはじめとした西部劇を思い起こします。</p> <p>また、この童謡に出てくる the moon、とりわけ満月には人を惑わせる不思議な力があ</p> |   |      |         |        |     |

ると言われています。物語に散りばめられた、これらの文化的要素を少しでも知っている  
と複眼的な読み解きが可能になり、より興味を持って読むことができるでしょう。

指導ポイント・授業活用例・学生の声など

【マザーグース】

Hey diddle diddle,  
The Cat and the fiddle,  
The Cow jumped over the moon;  
The little Dog laughed  
To see such sport<sup>1</sup>,  
And the dish ran away with the spoon.

a) 繰り返される音（韻）とリズム

はやしたての音 diddle、楽器の fiddle、愛らしさを表す little  
moon, spoon /u:/  
laughed 語尾の音 /t/, sport /t/  
see, sport, spoon /s/

b) 語句と表現

sport（古）お楽しみ、おふざけ、からかい  
run away with 駆け落ちする

（注1）本作品では、あらすじに示すよう such fun と記されていますが、such sport とさ  
れることも多いようです。

Lesson 1

- ① *The Adventures of the Dish and the Spoon* の扉に載っているマザーグースを書画カメラ  
で見せながら朗読する。
- ② 一行ずつ読み上げ、上記のポイントを説明する。
- ③ 教師のあとについて一行ずつ音読する。その後、各自で何回か練習する。
- ④ グループごとに、動作をつけてリズムカルに音読する。
- ⑤ 各自あるいはペアで、和訳を試みる。
- ⑥ 北原白秋、谷川俊太郎、平野敬一らの和訳を示し自分の訳と比較する。  
“Hey Diddle Diddle” には、数多くの和訳が存在します。

Lesson 2

- ① 書画カメラを使用して *The Adventures of the Dish and the Spoon* の読み聞かせする。
- ② グループでプロットを確認し、気になる場面を選ぶ。
- ③ 各グループ、気になった点と理由を報告し、それに対して教員からコメントする。必  
要に応じて、上記の文化的要素を紹介する。

④ グループで、この物語の続きを考えて書く。

**【教師による学生の観察】**

この絵本は他の絵本と異なり、見開き3分割の絵で構成されるページが多いため、書画カメラで左から右へ絵巻のようにスクリーンに映しながら、Dish と Spoon の何かにせき立てられた刹那的な生き方のごとく、走るように読み聞かせをすると、「えっ、何!」「どうなるの?」と、学生たちの声がざわざわと聞こえてきます。物語に織り込まれている“Hey Diddle Diddle”も意味のないナンセンスなものですが、「絵本なのに犯罪とは過激!」「面白けれど何を意味しているの?」という声が聞こえてきます。グループで絵本を手にし、じっくりとページをめくりながら意見交換をすると、「因果応報」「愛」「見失ってはいけない大切なもの」などのキーワードが出されました。

**関連作品・参考 URL**

Mini Grey はイギリス出身のイラストレーター、絵本作家で小学校教諭の経験もあります。本作でケイト・グリーンノウエイ賞を受賞しています。作者が開設するサイトがありますのでご覧ください。 <http://minigrey-blog.com/>

“Hey Diddle Diddle”を収録した本は、以下を含め数多く出版されています。

- ・ 『まざあ・ぐうす』北原白秋訳、角川書店、1976年
- ・ 『英語で読もう Mother Goose ベスト・セレクション 56』平野敬一編著、筑摩書房、1994年
- ・ 『セット・マザーグースのうた (5冊セット)』谷川俊太郎訳、草思社、1993年

**備考**

本稿の一部は大修館『英語教育』2019年5月号 (Vol.68, No.2) の口絵「絵本を探しに」[2]の原稿を大幅に改訂したものです。

(文責：草薙優加)